



ロータリーに輝きを



例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：池ノ谷 敏正 副会長：森下 敏顯 幹事：鈴木 舜光 副幹事：大長 昭子

第2057回

●ソング 君が代・奉仕の理想
●ソングリーダー 大塚 高弘君



【 蓮 】

写真提供：櫻井 龍太君

会長報告

池ノ谷 敏正君

皆さんこんにちは。

今日は、藤枝クラブ、藤枝南クラブ合同カバナー公式訪問例会です。



国際ロータリー第2620地区岡本和八ガバナー、紅林康弘地区社会奉仕委員長、そして浜松北ロータリークラブ掘田隆壽様、本日はご多忙の中、遠路より藤枝の地までお越しくださいまして、ありがとうございます。

そして、静岡第5分区荻原英生ガバナー補佐におかれましては、ガバナー補佐期首訪問に引き続きのご出席、誠にありがとうございます。

さて、岡本和八ガバナーは、今年度「会員増強を最優先課題と掲げ、「会員のためになっているか」を考え、あらゆることを見直し、クラブ運営を行うように」とのお考えを示されました。

我が藤枝ロータリークラブは40年を超える歴史を持つクラブであります、その歴史ゆえに、会員としては当たり前となっていることが、本当に会員のためになっているか、再考の必要な時期を迎えているのかもしれません。

岡本ガバナーより今年度の活動方針を受け、藤枝ロータリークラブの会長として、自分のクラブの活動方針を考えていくうちに、そのような思いが浮かんできました。

会員増強はどのクラブにとっても大きな課題であることは間違いありません。藤枝クラブでは、今年度始めのクラブ協議会でも、会員全員で

会員増強の方法などを話し合いました。

いろいろな意見が出ましたが、その中の新しい考え方として、「ただ、やみくもに会員を増やすことがクラブにとって本当に良い事か、自分のクラブとして、何人くらいが適切か検討してみる必要があるのでは」といった意見もあり、こういった事もしっかりと考えてみる必要がある気がしています。

質より量なのか、量より質なのか。

その様なことも、それぞれのクラブによって考え方が違って当然なのかもしれません。

また、会員は1人一業種。現在は緩和されてしまいましたが、このルールも増強のポイントになりうる事です。

藤枝南クラブと藤枝クラブとは、親クラブ、子クラブといった関係ではありますが、同じ地区の、同じ地域のロータリークラブとしては、見習わせていただくべき所が沢山あります。

そういう所は謙虚に受け止め、前向きに学ばせていただき、自分たちのクラブを「明るく楽しく気兼ねのいらないクラブ」目指して進んでいきたいと思っています。

ともあれ、何事もあまり考え込んでしまうことなく、藤枝ロータリークラブ会長として自分にできることを今年度一年頑張っていきたいと思っています。

岡本カバナー、荻原ガバナー補佐におかれましては、体調にご留意いただき、今後とも藤枝南クラブ並びに藤枝クラブへのご指導、アドバイス等をお願いいたしまして、私の会長挨拶とさせていただきます。

■ 幹事報告

鈴木 舜光君

- ・第2620地区より
9月のロータリーレートのお知らせがどいて
おります。1ドル=102円です。
- ・公益財団法人米山梅吉記念館より
秋季例祭のお知らせと賛助会員募集のお知らせ
が届いております。

■ 出席報告

松葉 義之君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
35/41 85.37%	35/41 85.37%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○大石君 ○河井君 ○森下君 江崎晴君
大杉君 仲田晃君

(2)メイクアップ者

大石 英典君(藤枝南) 櫻井 龍太君(藤枝南)
間野 日出男君(藤枝南)

■ スマイルBOX

松葉 義之君

- ・本日は藤枝・藤枝南合同例会にお越し頂きあり
がとうございます。今後ともご指導よろしく
お願い致します。藤枝RC 池ノ谷敏正君
- ・本日は遠方よりお越し頂きありがとうございます。
藤枝・藤枝南合同例会訪問、心より歓迎
いたします。藤枝南RC 伊藤彰彦君

スマイル累計額 38,000円

★ ガバナー公式訪問

国際ロータリー2620地区

岡本 一八 ガバナー

萩原 英生 ガバナー補佐

紅林 泰弘 地域社会奉仕委員長

堀田 隆壽 浜松北RC会員

皆さん、こんにちは。ガバナーの岡本でございます。ガバナーを務めさせていただくにあたって、私もサンディエゴでの世界協議会で研修を受け、勉強してまいりました。本



年度RI会長のゲイリーC.K.ホアン会長が掲げたテーマは「ロータリーに輝きを」。これは、各クラブ、そしてロータリアン一人ひとりが輝いていこう！ということです。実にわかりやすいと思います。未来志向で、皆さん一人ひとりがロータリーによって繋がったご縁を活かしながら、人間性を磨き、自分の仕事を活性化させ、利益を上げる。そしてその利益から自分が「これだ！」と思う奉仕活動にどんどん寄付をしていただく。それによってロータリーはますます輝いていきます。

私がロータリーに入ったのは、まだ若かりし頃でした。社員と飲みながらどんちゃん騒ぎをしていた若僧社長だった私に、同級生が「ロータリーに入ってもっと勉強しろよ」とアドバイスしてくれたのがきっかけでした。ロータリーに入会してなによりだったのは、一流の品行方正な先輩方の仲間に入り、食事をして会話を重ねていくうちに、自分自身もその素晴らしい姿を見て覚えることができたことです。ロータリーは、出席すれば、各方面、さまざまな分野の人たちからの情報が入ってきます。新聞にも載っていない「お金儲け」の情報を得ることができ、それが自分自身のためになるのです。

また、ロータリーは、誰が一番偉いということではなく、皆が平等です。そして交代で役を担い、社会に役立つ奉仕を行うことで、素晴らしい絆ができるのです。先輩からは「あなたに役がきたら、ハイかYESで返事をしなさい」と教えられました。何事も引き受けることでレベルが上がり、一流になれるのです。

こんなに素晴らしいロータリーなのですから、自信を持って仲間を募っていきましょう。それには、次世代を担う若い人をどんどん入会させて、ロータリーで一人前に育てていこうではありませんか。今や、ロータリーに相応しい人だから入会させる、という時代ではありません。よちよち歩きのロータリアンでも、仕事を真面目にする人ならば一流のロータリアンになります。職業人を育て上げるのがロータリーなのです。今年度、新会員200名を目標に掲げました。皆さんそれぞれが、三人に声をかけてみてください。入る入らないにかかわらず、アプローチすることが大切です。

また、寄付について「自由」と打ち出したのは、「出さなくて良い」といっているのではありません

せん。決まられた額ではなく、もっと余分に出してくださいということです。オールド会員は年金の半分ぐらい出すようなつもりでお願いします。お金のある人はお金を出す、お金の無い人は知恵を出す、お金も知恵も無い人は汗を出す。そして、大口寄付者や会員増強に貢献した会員には、ホアン会長考案の「ハッピークラッチェ」で大いにたたえてあげてください。

今まさに時代はロータリークラブの分岐点にあると思います。長年のロータリーの歴史を重んじて、専門的に難しく解釈される方もいらっしゃると思いますが、私は、今の時代に即した解釈で、それがロータリーの多様性につながれば、必要に応じた変化は大切だと思っています。クラブ会員のためになっているのであれば、あらゆる面で変化・改革に挑戦していただきたいと思います。

こうして、クラブ公式訪問で各クラブを回って様子を聞くと、既に地域密着型で素晴らしい活動をしているクラブが沢山あり、とても嬉しく思います。皆さんに期待しています。これからますます力を合わせて、ロータリーを輝かせていきましょう。



(担当／畑君)